

子どもたちの 安全を願って

四月十三日(金)に、新一年生百七十一名と保護者を対象に、親子交通安全教室を開催しました。栗林校区には交通量の多い道や横断歩道、踏切も多くあります。

そこで、一年生には安全な登下校ができるよう交通規則を身につけてもらうために、体育館に模擬の信号機をつけたり、横断歩道や踏切をつくったりして、正しい歩き方や横断歩道、踏切の渡り方を学習しました。

また、昨年から実施している旗振り講習会も行われました。

当日は、高松市交通安全対策課より五名の指導者の方や栗林校区交通安全委員の会の皆様方が多数ご来校指導くださいました。

九十名もの保護者の方々が参加してください、正しい立哨指導についてお話を伺ったり、旗振りの仕方を実際に練習したりと熱心に取り組んでいました。

毎朝ボランティアで、保護者の皆様が必要所で旗振りを行って子どもたちを守ってくださいにすることに對して、心よりお礼申し上げます。



避難訓練 実施

四月二十日(金)に、高松北消防署の方を迎え、家庭科室から火災が発生したという設定で避難訓練を実施しました。火災発生の際の通報をきいた児童たちは、担任の指示に従って運動場に避難しました。

避難するときは「お・か・し・も」を守ります。「お・か・し・も」とは、おさない・かけない・しゃべらない・もどらないの四つのルールです。集団が早く安全に避難するためにとても大切なこととす。運動場で北消防署の方からお話を聞きました。最近地震が頻発していますが、地震が起こったときには「か・も・に」を守って避難すると良いと教えてくれました。「か・も・に」はなんの頭文字かわかりますか？帽子や座布団を頭に「かぶる」、机の下に「くぐる」、机やいすの脚を「かぎる」、です。火事の際は「お・か・し・も」を覚えておいて、いざという事態に備えることが大切だと学びました。

今回の避難訓練には、避難経路や避難時の集合場所の確認と、修学旅行をひかえた六年生は救助袋を使用した避難方法を体験するという目的がありました。六年生は消防署の方から指導を受けた後、一人ひとり、設置された救助袋を使って校舎の三階から降下の体験をしました。

あいさつ の輪を広げよう

まだあいさつ当番が始まっていない四月上旬、二年生や四年生、六年生の十数名が、「あいさつで学校を明るくしたい。」と中央廊下で自主的にあいさつを始めました。別に約束したわけではないのですが、同じ思いの仲間が、中央廊下に偶然に集まっています。

二年生は、朝登校した後授業が始まるまでに、何かをしたい。四年生は、月目標のあいさつをたくさんしたい。六年生は、自主活動としてあいさつの輪を広げたい。

これらの思いが偶然に重なり、中央廊下に子どもたちが集まるようになってきました。

そこで、子どもたちの思いを受け止めた先生方が中心となって、あいさつの臨時委員会をつくり、「モーニング委員会」とネーミングし、毎朝中央廊下で、できる人ができる時間にあいさつをし、「あいさつで学校を明るくしよう」という取り組みが始まりました。

今朝も、元気のいいさわやかな声が、栗林小学校に響いています。



百七十一名の一年生が仲間入り

入学式

四月十日(火)、入学式が挙行されました。男子九十名、女子八十一名、計百七十一名の可愛い一年生が入学しました。

運動場で受付を済ませ六年生に手を引かれて教室へと向かう小さな顔には、ちよっぴり不安そうな表情もありましたが、体育館に入場してくる頃には、もうすっかり小学生の顔でした。約三十名の御来賓と保護者の皆様に見守られ、三十分の式の後、記念撮影、二年生との交流、地区児童会等を済ませ十二時過ぎに下校しました。

集団下校

入学式の翌日からは、担任等が五コースに分かれて途中まで送って行きました。その様子をご覧になった保護者の方から、連絡帳に下のような声が寄せられました。



お二人の方 が仲間に入

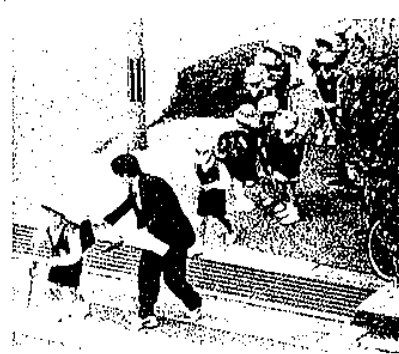
今回、新たにお二人の方が特別非常勤講師として、栗林小学校に來られるようになりました。

お一人は、白川友子さんです。白川さんは、平成十一年度より手話クラブの講師として、お世話になっていきます。高松市の様々なイベント等の手話をしています。今年度も、手話クラブや総合的学習等で一年間お世話になります。

集団下校、先生どうもありがとうございました。一人でも大変なのに何十人の一年生の下校は、至難の技でしょう。

思い出たと女園からシャッターを切ってしまいました。勝手に撮ってしまったのですみません。

保護者の方々はもちろん、地域の方々にも守られて、一年生は楽しい学校生活を送っています。今後ともよろしくお願致します。



もう一人は、早谷川悟さんです。早谷川さんは今年度より、IT関連(情報技術)として、クラブ活動や総合的学習で一年間お世話になります。職場等でパソコンを使ってお仕事なさったり、趣味でコンピュータを使って様々な事を行っているそうです。

子どもたちとともに、手話やコンピュータ等のすばらしさを、一緒に学ぶことを楽しみにしています。よろしくお願いします。